

# うれしの 市議会だより

令和5年  
(2023)  
11月28日発行  
Vol. 71



▲大いに賑わう例大祭

発行 ● 嬉野市議会  
編集 ● 議会広報編集特別委員会  
〒849-1492  
佐賀県嬉野市塩田町  
大字馬場下甲1769番地  
TEL 0954 (66) 9127  
FAX 0954 (66) 2887



## 令和5年 第3回定例会

補正予算 .....	2
条例・予算のなかみ .....	3~5
令和4年度決算 .....	6~10
人事・賛否表・陳情 .....	11
一般質問 .....	12~27
委員会レポート・議員とかたろう会 .....	28~29
議員発議・付託案件・会期日程 .....	30~31
ときの人・コラム .....	32

第3回定例会  
(9月)

# 一般会計補正予算

# 5,914万円計上

# 一般会計総額204億3,472万円に



補正予算

令和5年第3回定例会は9月1日に  
招集され、10月5日まで35日間の日程  
で開催されました。

今定例会には、報告6件、条例の改  
正6件、字の区域変更1件、組合規約  
の変更1件、一般会計を含む補正予算  
2件、令和4年度の決算認定5件、人  
事案件3件の全部で24件が上程されま  
した。

決算認定の5件を除く19件について  
は慎重審議の結果、9月21日に討論採  
決を行い、全議案を可決しました。

その後、9月28日に決算特別委員会  
を設置し、令和4年度の一般会計、特  
別会計など5件の決算認定についても  
現地調査を含め慎重審査を行い、10月  
5日に全ての議案を全会一致で認定し  
閉会しました。(賛否表P11)

また、今議会においては、議員発議  
が2件上程され、いずれも全会一致で  
可決し意見書として国や関係機関へ送  
付されました。(意見書P30)



# スマートフォンで証明書

## 印鑑条例の一部改正及び 手数料条例の一部改正

電子証明書のスマートフォンへの搭載を可能とするため、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い条例の一部を改正する必要があります。

マイナンバーカードの保有者に対し、マイナンバーカードと同等の機能（署名用及び利用者証明用の電子証明書）を持つ

た、スマートフォン用の電子証明書の搭載機能です。

スマートフォン用の電子証明書の搭載機能です。これによりマイナンバーカードを持ち歩くことなく、スマートフォンだけで、様々なマイナンバーカード関連サービスの利用や申込ができるようになります。なお、4桁の暗証番号に代わり、携帯電話の持つ生体認証機能を活用することも可

能です。スマートフォンは、デジタル庁の「スマホ用電子証明書に対応可能なスマートフォン」は、デジタル庁の「スマホ用電子証明書に対応しているスマートフォン」の一覧をご確認ください。

今後マイナポータルを利用することで民間サービス、コンビニ端末での利用、健康保険証への利用と順次対応サービスが拡大される予定です。

スマートフォン電子証明書搭載サービス  
2023年5月11日より、まずはAndroidから！

マイナンバーカードの保有者に対して、マイナンバーカードと同等の機能（署名用及び利用者証明用の電子証明書）を持つスマートフォン用の電子証明書の搭載機能について説明しています。

マイナポータルサービス  
マイナポータルサービスは、マイナンバーカードの保有者に対して、マイナンバーカードと同等の機能（署名用及び利用者証明用の電子証明書）を持つスマートフォン用の電子証明書の搭載機能について説明しています。



▲ 詳しくはこちらで

### 条例のなかみ

### 予算のなかみ

## 多様な学びの実現へ 学校施設バリアフリー化 改修事業 1050万円



▲ スロープが新設される嬉野小学校

この事業は、学校施設のバリアフリー化を行うことで、配慮が必要な児童が支障なく安心して学校生活を送ることができるよう環境整備の改善を図り、車椅子でも子どもたちが困ることのないように改修工事を行う事

業です。今回の対象学校は嬉野小学校で、具体的な工事の内容としては、スロープの新設が2箇所と既設スロープの改修、その他シャワートイレや手すり、自動水栓化等既設トイレ改修が2箇所、プール屋外階段の2段手すり設置工事等、施設の改修工事が行われます。

議会としては、今後対象児童が進級することにより、階段で2階等に移動することに対しても、配慮を行い対応していくように申し入れました。

**問** 工事期間はいつか。  
**答** 令和6年春の新入生を迎えるまでには完了させる。

**問** 事業費の財源内訳はどのようになっているのか。  
**答** 学校施設環境改善交付金（大規模改造バリアフリー）を活用し、学校教育施設等整備事業債と一般財源である。

# 移住・定住に向け嬉しい増額 新幹線通勤通学定期券 購入補助金事業 **230万円**

令和5年度の当初予算で360万円が予算化されていましたが、現在の実績をふまえ、今回の補正で230万円が増額されました。

この事業は、新幹線の開業に伴い、新幹線を活用して嬉野温泉駅から20km以上の区間で通勤・通学を行う者に対して定期券購入費用（会社などから支給される交通費を除いた額）の1/2（上限2万円/月）を補助金として支給するものです。

当初予算においては、上限額2万円の15人で1年分を予算化していましたが、7月末現在4名の通勤と27名の通学で合わせて31名に補助金が支給されており、当初の予想を大きく上回る利用者となっており、そのための増額補正です。



▲ 新幹線開業でより広がった通勤・通学圏

嬉野温泉駅が開業したことにより、新幹線を使った通勤・通学ができる嬉野市の利便性を今以上にPRすることで、移住・定住を促し、人口増へつながることを期待します。

**問** 定期券購入者の目的地の内訳はどうなっているのか。

**答** 福岡が7名、鳥栖までが16名、長崎が5名、諫早・大村が3名となっている。

## いよいよ始まる新庁舎建設

### 庁舎整備関連事業 **1021万円**

現在、着々と進められている新庁舎建設に伴い、現嬉野庁舎第2庁舎内にある子育て支援センターや環境下水道課、建設課、農林整備課、SAGA 2024推進課などの移転業務（引越し）、移転先の仮事務所賃借料や電話、ネットワーク回線移設などの追加補正予算として今議会において上程され可決しました。

また、一時的に関係課がどこに移動したかを周知する看板設置費も含まれますが、議会としては、移動に伴い混乱が生じないよう市民の方への周知や説明をしっかりと行うよう指摘しました。

野老人福祉センター2階の保健センターへ移動。環境下水道課、建設課、農林整備課は文化センター2階へ移動する。SAGA 2024推進課は建設業会館2階へ移動する予定。佐賀西部広域水道企業団は令和6年3月末で営業所が廃止・統合されるため移設対象にはなっていない。

**問** 各課などの移動先はどこになるのか。



▲ 先に解体される嬉野第2庁舎

# 手厚い対応へむけて

## 放課後児童健全育成事業 221万円

この事業は、労働等により、保護者が昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後の遊びや学びを通して適切な生活の場を提供し、発達段階を踏まえながら体力増強、福祉増進と健全育成を図る事業です。

今定例会では、221万円の補正となりました。その内容は、障害児の利用増加に伴い支援員を追加配置して受け入れるため（障害児受入強化推進事業）の増額と、キャリアアップ処遇改善の対象となる支援員の増加に

伴う増額です。

**問** 障害児受入強化推進事業の具体的内容は。

**答** 障害児が3名以上5名以下は1名の支援員を配置。6名から8名以上では2名配置した場合が補助対象となる。

**問** 障害児を受け入れる場合、支援員は専門的研修を受講するのか。

**答** 放課後児童認定研修において障害児の育成支援の研修を受けている。

**問** キャリアアップ処遇改善の対象職員支援員は何名分か。

**答** 3名分である。

**問** キャリアアップ研修とは。また、その回数はいくつですか。

**答** 県が開催する放課後子ども研修会で年2回受講しなければならぬ。



▲ 多様化が進む放課後児童クラブ

予算のなかみ

## 温泉の枯渇を防げ 源泉集中管理事業 664万円

この事業の目的は、野温泉全体に水位や流量などを把握するために稼働状況監視計器等を設置し、源泉の二元的な集中管理システムを構築することにより、源泉状況をリアルタイムに監視し、統一的な温泉資源保全対策を図るためです。

以前に温泉の枯渇問題があり、各源泉の二元化が検討されていましたが、揚湯量の監視システムが全源泉に導入されることにより、今後の枯渇問題への対策、対応ができる基盤が構築されました。

**問** 全体の源泉揚湯量は公表されないのか。

**答** 源泉の所有者が個人であり協議が必要である。

**問** 今後の源泉集中管理システムにおけるランニングコストの財源は。

**答** 設置に関しては合併特例債を活用したが、今後の維持管理費は検討していく。



▲ 豊かな資源をいつまでも

# 決算を認定



令和5年度補正予算関連の討論・採決終了後、9月28日に議長を除く15名の議員で決算特別委員会を設置し、令和4年度の一般会計、特別会計など5件の決算認定について慎重審査及び現地調査を行い、各課への指摘事項も含めた意見を付して10月5日に全会一致で認定しました。

## 実質収支額

# 7億7881万円の黒字決算

### 一般会計

令和4年度一般会計の決算状況は、歳入総額が214億335万円（前年度比+1.1%）、歳出総額が205億1620万円（前年度比+2.4%、4億7263万円増）で翌年度へ繰り越す財源1億834万円を差し引いた7億7881万円が実質収支額となり、黒字決算となっており、前年度実質収支額と比較した単年度収支額は、9474万円の減少です。歳入では、市税などの自主財源比率が歳入総額の43.2%（92億3025万円）で昨年度より1.5ポイント減少しています。市民税や固定資産

税などの市税は若干増加しているものの、寄附金や財産収入などが減少しているのが要因です。

歳出では人件費や扶助費、物件費などの経常的経費が歳出全体の65.7%（134億7624万円）、普通建設事業費や災害復旧費などの投資的経費が歳出全体の15.2%（31億3471万円）、積立金や繰出金などその他の経費が19.1%（39億524万円）となっています。令和3年度と比較すれば、豪雨災害による災害復旧費などが大幅に増えたため、投資的経費が前年と比較して額で13億3108万円、率で73.8%の増となっています。

### 特別会計

国民健康保険、後期高齢者医療、嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費のそれぞれの特別会計の実質収支額は、いずれも黒字決算となっています。

また、令和3年度まで嬉野市農業集落排水、嬉野都市計画下水道事業、嬉野市公共下水道事業費、嬉野市浄化槽の3つの特別会計は地方公営企業法適用の嬉野市下水道事業会計へ移行し、嬉野市嬉野都市計画事業の第七・第八土地区画整理事業費特別会計は終了しているため、令和4年度の特別会計の総額が歳入で7億9215万円、歳出で7億5304万円減少しています。



# 令和4年度

## 一般会計 特別会計



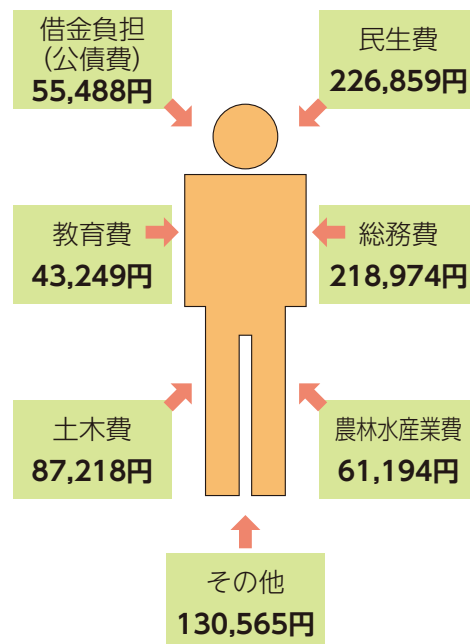
### 各決算の状況

会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	形式収支 (C) = (A) - (B)	翌年度へ繰り 越すべき財源(D)	実質収支額 (E) = (C) - (D)
一般会計	214億335万円	205億1,620万円	8億8,715万円	1億834万円	7億7,881万円
特別会計会計	46億4,583万円	44億2,045万円	2億2,538万円	6,434万円	1億6,104万円
国民健康保険	38億2,439万円	36億8,330万円	1億4,109万円	0	1億4,109万円
後期高齢者医療	3億9,752万円	3億9,512万円	240万円	0	240万円
駅周辺土地区画	4億2,392万円	3億4,203万円	8,189万円	6,434万円	1,755万円
合計	260億4,918万円	249億3,665万円	11億1,253万円	1億7,268万円	9億3,985万円

### 主な財政指標

区分	令和4年度	令和3年度	用語の説明
財政力指数	0.370	0.372	基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。指数が1を超える場合や1に近づくほど財源に余裕があることとなります。
実質収支比率	9.9%	10.7%	実質収支額を標準財政規模で除したもので普通3～5%程度が望ましいとされています。
経常収支比率	85.2%	83.4%	使い道が自由な一般財源のうち必ず支出しなければならない経費の割合。いわば地方財政のエンゲル係数で100%に近いほど財政にゆとりがないことになり、80%までが適正とされています。
実質公債費率	9.1%	9.8%	収入に対する負債返済の割合で過去3年間の平均値。18%以上だと新たな借金をするためには県の許可が必要で25%以上だと制限されます。
将来負担比率	— (※)	8.7%	一般会計で将来負担すべき負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。350%を超えると早期健全化団体に転落し健全化計画を提出しなければなりません。

### 市民(24,912人) 一人当たりに使われたお金 (令和5年3月末現在の人口)



1人当たりの費用額は(人口割) 823,547円

※将来負担比率は、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であるが、当年度は将来負担額より充当可能財源等が多いため比率の表示がなく、将来負担が少ないことを表しています。

# 議会からもの申す!!



決算

**令和4年度決算特別委員会**は、9月28日に議長を除く15名の議員で設置し、委員会内に3つの分科会を設け各所管より詳細な説明を受け、事情聴取を行い審査しました。その結果、それぞれの指摘事項を付してすべての決算において認定しました。指摘事項の一部を掲載いたします。

## 総務・防災課

消防団の報酬及び待遇改善、また消防団員の適正な定数見直しに関しては、消防団との協議のうえ、早急に嬉野市消防審議会を開催し改善を図るべきである。

## 財政課

旧市体育館等解体事業において、解体後の用途が決まっていない。そのような課題がある中、その他市有財産とともに有効的活用と計画的維持管理、また売却等も視野に入れた抜本的な施策を講じるよう努めるべきである。

## 税務課

市税全体は徴収率の改善が見られるものの、滞納繰越分においてはさらなる徴収努力を図るべきである。また、人員を確保し、滞納者への様々な角度からの徴収に向けた対策に努めるべきである。

## 企画政策課

結婚支援事業は事業の成果が見えにくい。潜在的に結婚支援を必要とする方の掘り起こしと、県の取り組み事業や民間事業との連携も視野に入れ取り組むよう努めるべきである。

## 広報・広聴課

女性が輝くまちづくり推進事業において「嬉野市スポーツフューチャーセンター」設置基本構想が策定されているが、到達目標の明確さに欠ける。継続的に、明確に市民に分かりやすい事業のあり方を示すべきである。

## 文化・スポーツ振興課

連携協力協定を結ばれている委託先への市の貢

献は遥かに大きいものと考えてるので、スポーツだけの視点に留まらず、地域の課題解決等、大きな視点での連携協力に向けた関係性を保つべく努めるべきである。

## SAGA2024推進課

企業協賛においては大変なことではあるが、企業協賛への理解とお願いに今後とも努めていただきたい。

## 市民課

中長期在留者居住地届出等事務は、在留外国人が年々増加している状況である。災害時の対応等もふまえ今後も各担当課で情報共有を図り、丁寧な対応を求む。

## 健康づくり課

健康マイレージ事業は、令和4年度の定員700人に対し、777人の申請で増加傾向である。市民の健康増進のためにも予算の増額を検討すべきである。また、商品券に代わる、うれしかーど等のポイント付与の早急

な対応を求める。

## 福祉課

避難行動要支援者個別計画策定業務は、令和4年度の当初予算47万円に対し、半分以上の21万9000円が決算額である。災害等の発生時には必要なことなので、早急に策定すべきである。また、支援が必要な独居老人や高齢夫婦等も避難行動計画書を早急に策定すべきである。

## 教育総務課

小・中学校の学校管理費工事請負費の営繕費は、エアコンの故障で緊急的に修理が行われ、授業に影響はなかったものの、小中学校の空調設備は設置から10年程度経過している設備もある。教育環境の維持や長寿命化のためにも、定期的な点検と更新も含め計画的な予算化を検討すべきである。

## 農業委員会

太陽光発電設置事業は、開発に際し排水路等の不備や耐用年数が過ぎた太

陽光パネルの処理等にも課題がある。農地を守り、適切に運用するため、特に数年来の課題である嬉野市独自の条例等の制定を強く求める。

## 農業政策課

有害鳥獣被害防除対策事業は、捕獲獣の処分に関する課題が長年解決されておらず、対策を早急に取り組むべきである。グリーンツーリズム推進事業は、嬉野版DMOとの連携を図り事業を行うべきである。

## 観光商工課

就業対策支援事業では、「よかワーク」の更なる事業の取り組み強化を求める。

## 茶業振興課

うれしの茶交流館「チャオシル」は、他の所管と連携を図り民間のノウハウを活用し、更に





充実するよう努めるべきである。

うれしの茶需要拡大対策事業では、PR等の事業を更に積極的に取り組むべきである。

### 新幹線・まちづくり課

未来技術社会実装事業のバーチャル嬉野・嬉野散歩では、塩田津等も含めた嬉野市全体の魅力ある情報を観光客に伝えるべく早急に内容の充実を図るべきである。

塩田地区デマンド交通実証運行事業においては、運用に向けて市民の利便性を十分に考慮して進めるべきである。

### 環境下水道課

佐賀県西部広域環境組合に対し、構成市町には改めて排出ルールの統一化を強く要望すべきである。

塵芥処理事業では、中継基地において労働環境の改善も考え、小型重機等の導入も検討すべきである。

### 建設課

令和4年度は災害復旧事業に対し、所管及び請負業者が多忙となり市道新設改良工事並びに社会資本整備総合交付金事業等が多額の繰越明許となった。地域の要望等を含めた市民のインフラ等に関しては早期の整備を求める。

### 農林整備課

馬場下排水機場は市民の生命、財産を守る重要な施設である。有事の際にオペレーターが安心して運用ができるように環境の確保を求める。

広川原キャンプ場の運営に関しては、これまで以上に施設の魅力をPRし、運営の充実を求める。

### 終わりに

各会計で円滑な運営を図るとともに、市民の福祉向上のための行政に一層努力されることを期待する。

指摘事項の全部については二次元コードにてご覧下さい。



## 借金はこれだけ

借入金の項目	令和4年度末金額	令和3年度末金額
公共事業債	7億9,216万円	5億3,398万円
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	1,100万円	1,100万円
公営住宅建設事業債	2,930万円	3,843万円
災害復旧事業債	1億5,105万円	3,859万円
(旧) 緊急防災・減債事業債	0円	937万円
教育・福祉施設等整備事業債	1億7,125万円	2億1,381万円
一般単独事業債	42億2,387万円	47億1,382万円
うち 合併特例事業債	28億581万円	32億2,377万円
財源対策債	2億1,285万円	2億299万円
減収補填債	1,953万円	1,953万円
減税補填債	1,310万円	2,094万円
臨時財政対策債	42億1,813万円	45億8,229万円
その他（一般会計出資債）	3億8,494万円	3億9,229万円
合計	102億2,718万円	107億7,704万円

(決算年度末現在高)

## 貯金はこれだけ

基金の項目	令和4年度末金額	令和3年度末金額
財政調整基金	39億8,822万円	36億29万円
減債基金	11億6,777万円	11億6,217万円
地域づくり推進事業基金	3億8,838万円	4億1,819万円
ふるさと応援寄附金基金	51万円	7億70万円
地域福祉基金	2億1,405万円	2億1,405万円
ふるさと・水と土保全基金	2,041万円	2,041万円
公共施設建設基金	14億9,290万円	10億9,234万円
奨学資金積立金	7,370万円	7,455万円
人づくり振興基金	5,000万円	5,000万円
国民健康保険基金	1億8,998万円	1億8,520万円
下水道事業基金	1億3,849万円	1億3,846万円
土地開発基金	1億160万円	1億156万円
肉用繁殖牛導入事業基金	2,375万円	2,340万円
合併振興基金	13億4,381万円	13億7,405万円
教育環境支援基金	1億10万円	1億6万円
ふるさと応援寄附金子育て夢基金	1億5,988万円	1億3,983万円
森林環境譲与税基金	3,835万円	2,875万円
その他	840万円	910万円
合計	95億30万円	94億3,311万円

(決算年度末現在高)

# 新型コロナウイルス感染症対策関係事業

令和4年度での新型コロナウイルス感染症対策関係事業として、執行された金額は6億3,638万円で財源内訳としては、国庫支出金6億393万円（うち地方創生臨時交付金2億3,013万円）。県支出金50万円、一般財源3,045万円、その他で150万円です。



所属課	事業名	事業決算額
総務・防災課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金費（繰越分含む）	7,252万円
	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金費	1億1,758万円
広報・広聴課	テレワーク等推進事業	621万円
福祉課	障がい者支援施設運営支援事業	96万円
	介護保険施設運営支援事業	173万円
	嬉野及び塩田老人福祉センターの畳替え（抗菌畳）	291万円
	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	482万円
子育て未来課	子育て世帯生活支援特別給付金	2,261万円
	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	2,009万円
	放課後児童支援員処遇改善臨時特例事業	350万円
	原油価格高騰対策支援事業	149万円
	子育て世帯への臨時特別給付金事業（繰越）	20万円
	子育て世帯への臨時特別給付金事業	1,392万円
健康づくり課	子どもインフルエンザ等ワクチン接種費用軽減事業	315万円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	2,752万円
	新型コロナウイルスワクチン負担金事業	1億1,922万円
	新型コロナウイルス感染症対策応援協力金	730万円
	嬉野及び塩田保健センターの畳替え（抗菌畳）	194万円
農業政策課	収入保険加入促進事業	346万円
	農村ビジネスサポート事業	100万円
	肥料価格高騰対策事業	67万円
観光商工課	経済対策支援事業（コロナ禍における経営安定化や事業維持・継続の支援）	140万円
	観光客等ポイントカード事業（観光客にポイント付与したうれしカードを配布）	495万円
	経済活性化事業（全市民を対象にうれしカードのポイント交付）	1億5,324万円
教育総務課	修学旅行キャンセル料助成事業（新型コロナウイルス感染症対策）	6万円
	スクール・サポート・スタッフ配置事業	958万円
	学校保健特別対策事業（小学校における感染症対策等支援事業）	758万円
	小学校施設 非接触型自動水栓化	523万円
	学校保健特別対策事業（中学校における感染症対策等支援事業）	388万円
	中学校施設 非接触型自動水栓化	889万円
	オンライン学習環境整備	26万円
学校給食費物価高騰対策事業	723万円	
文化・スポーツ振興課	中央公民館の畳替え（抗菌畳）	128万円



人事

● 人権擁護委員の推薦に答申

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する人たちです。地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動をされています。

今回、3人の委員を推薦され、議会で適任と認め答申しました。

熊谷正之 氏

(嬉野町下吉田)

池田艶子 氏

(塩田町谷所)

森脇慶子 氏

(嬉野町吉田)

人事

令和5年第3回定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号 結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				水山洋輔	大串友則	古川英子	阿部愛子	山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	芦塚典子	田中政司	梶原睦也
議案第32号	嬉野市印鑑条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	佐賀県市町総合事務組合理約の変更について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和5年度 嬉野市一般会計補正予算(第4号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和5年度嬉野市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和4年度 嬉野一般会計歳入歳出決算認定について	認定	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	インボイス制度の卸売市場特例及び茶改植等支援事業への要望に関する意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情

● 第4号

被爆78周年原水禁運動への  
ご協力をお願い

佐賀市神野東4丁目

労働会館1F

原水爆禁止佐賀県協議会

会長 徳光清孝 氏

● 第5号

地方財政の充実・強化を求め  
る意見書採択に関する陳情書

佐賀市駅前中央3丁目

全日本自治団体労働組合

佐賀県本部

執行委員長 宮崎啓一郎 氏

● 第6号

保育所等保育施設の職員配  
置基準改善を求める陳情書

佐賀市駅前中央3丁目

全日本自治団体労働組合

佐賀県本部

執行委員長 宮崎啓一郎 氏

陳情

# 今回は、 一般質問を大幅増頁



一般質問



今定例会では、議長以外の15名の議員から一般質問の通告がありました。

先の第2回定例会においては、一般質問が文書質問となったため今議会だよりの一般質問の掲載方法について議会広報編集特別委員会で協議いたしました。

その結果、第2回定例会の文書質問内容を踏まえて記事を作成する議員と、第3回定例会の一般質問のみで記事を作成する議員がいるので、公平公正を期するため通常よりページ数を増頁し、1議員1ページで掲載することに致しました。

いつもの一般質問とは違うレイアウトになっていますが、読み応えのある内容となっております。是非最後までお読みいただければ幸いです。

また、各議員の一般質問の動画配信につきましては、議員ごとに二次元コードを添付しておりますので、読み取っていただければ視聴可能となります。

## 次のページから一般質問

15議員が質問

諸井 義人 議員

P13

山口 虎太郎 議員

P18

山口 卓也 議員

P23

芦塚 典子 議員

P14

諸上 栄大 議員

P19

大串 友則 議員

P24

森田 明彦 議員

P15

古川 英子 議員

P20

増田 朝子 議員

P25

川内 聖二 議員

P16

梶原 睦也 議員

P21

田中 政司 議員

P26

水山 洋輔 議員

P17

阿部 愛子 議員

P22

宮崎 良平 議員

P27





諸井 義人 議員

ゼロカーボンシティの宣言とは

答 二酸化炭素排出実質ゼロに向けての取り組み宣言



諸井 ゼロカーボンシティに向けてどうするか。

市長 持続可能な都市開発の一形態であり、地球温暖化に関する二酸化炭素の排出をゼロに近づける。

諸井 ゼロカーボンシティとSDGsの関連は。

市長 非常に密接な関係にあり、持続可能な開発に関する17の目標で、経

済的な繁栄と環境保全を両立させる。

諸井 脱炭素に向けたロードマップの取り組みは。

環境下水道課長 本年度、二酸化炭素排出抑制対策事業の採択を受けたところである。脱炭素推進事業計画策定及び再生エネルギー設備導入ポテンシャル業務の発注・契約を行った。年度内にあら

かたの計画を示したい。

諸井 教育関係におけるゼロカーボンシティの取り組みはされているか。

教育長 公共交通で通学している中学生に自転車通勤するスマートフォンという一つの方法である。また、今後学校でもフルビズの取り組みを加速していく必要もある。

諸井 学校を含む公共施設において、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）や太陽光発電等を取り入れる計画はあるか。

市長 今後、大規模な改修や新規建設の際には、施設の性質を見極めながら、すべての施設においてZEBを検討していく。

諸井 公用車を電気自動車に変えていく予定はあるか。

財政課長 現在、「うれしのまるく」に1台導入しているが、充電設備費用が585万円かかった。市が保有している97台を電気自動車にすると2億5千万円程度かかる。今後は、費用対効果を考えて導入を進めて行くように考えている。

人材確保及び育成について

諸井 近年の採用状況と若手の離職者の状況はどうか。

総務・防災課長 採用者が退職者を上回っているが、再任用や職員の休業等の様々な増減の要素を勘案しながら人員の確保に努めている。また、比較的若い職員の退職は、数名の規模で続いている。

諸井 職員の給与水準は、10市の中で最低である。職員の給与水準をもう少し上げて、モチベーション向上とやりがいのある嬉野市にはできないか。

行政経営部長 職員給料はフスパイルズ指数において県内で下位である。計算方法は複雑であるが、できるだけ改善する方法を探りたい。

諸井 職員としての人材育成は、どう取り組んでいるか。

総務・防災課長 新規採用職員研修や佐賀県市町振興協会での研修、法制財務等の研修を行っている。

地域要望について

諸井 区長等の要望にどう対応しているか。

建設部長 財源及び危険度に応じた優先順位で順次対応している。要望書は、一回出せばずっと有効である。



▲ 市長の決意 ゼロカーボンシティ宣言

令和5年度  
嬉野市職員採用試験案内

特別な公務員試験対策は不要です

試験日 令和5年9月17日(日)  
受付期間 7月10日(月)～8月15日(火)  
【土・日、祝日を除く8:30～17:15】

※郵送は8月15日までの消印のあるものまで受け付けます。

住所要件は  
ありません

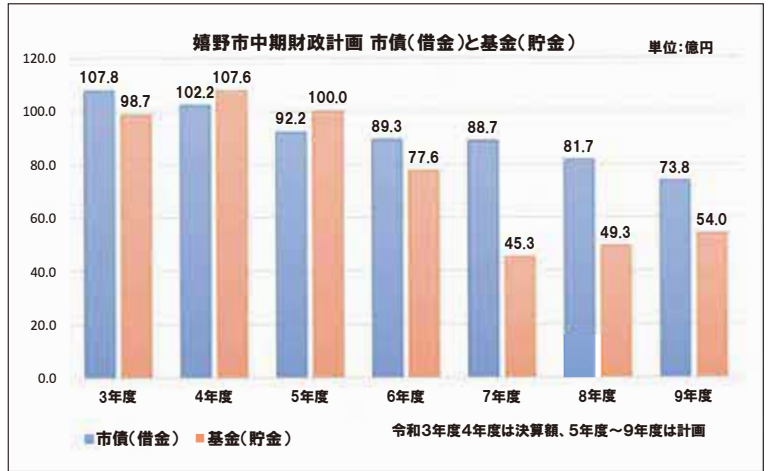
嬉野市はあなたを待っています

▲ 嬉野市はあなたを待っています



# 市の財政運営は

**答** 健全な財政運営に努める



▲ 基金(貯金)の使いすぎでは

**市長** 市の財政状況は、この2年は0.37で従来より低くなっている。経常収支比率は、令和元年度には93.5%まで上昇したが、令和4年度は85.2%と改善した。

**芦塚** 基金(貯金)は現在105億円だが、令和7年度は、45億3000万円と半減する推計だが、**財政課長** 令和7年度末基金が減少する要因は、

新庁舎建設に伴い、基金を利用するためである。

**芦塚** 武雄市、鳥栖市、神埼市は、建設資金は合併特例債と公共施設建設基金で、残りを一般財源で返済している。基金で建設資金を補う施策か。

**財政課長** 一般財源を使ったら、その年度に一般財源が膨大な額になるので、今年度から基金を積み立てて準備している。

**芦塚** 基金残高が令和7

年度に急激に少なくなる。基金は元来地方債(借金)の返済や災害時の対応等安定した財政運営を維持するものであるから財政運営は大丈夫か。

**財政課長** 財政調整基金は16%程度に落ちるが災害対応等基金の残高で対応できると考える。

**芦塚** 新庁舎建設資金を一般財源ではなく、基金に頼るのは基金の本来の目的ではないと思うが。

**市長** 目的外使用に当たらない。基金は減るが他の市町と比較しても即座に財政の危機という状況にはならない。

**芦塚** 市債残高は令和4年度102億円から令和7年度には、約89億円となるが、基金残額は半減していくことになり、健全運営ができるか。

**財政課長** 今後も健全な財政運営に努める。

**芦塚** 税収は約25億円で推移、ふるさと応援寄附金も交付金も減少、基金は半分まで減少、新庁舎建設等、大型プロジェクトが目白押しに続く将来、財政施策はあるか。



▲ ジェンダーレス制服は好評です

**市長** 先行投資を行いながら財政力指数を上げる施策は既に行っている。

**芦塚** 中期財政計画はどのように推移するか。

**財政課長** 市税はやや減少傾向で推移している。歳出では、扶助費や他の支出が増加していくが、財源不足は基金から補う。

**治水対策の進捗状況は**

**芦塚** 塩田川支流の河道掘削と浚せつの計画は。

**建設課長** 要望は出しているが、予定はない。

**芦塚** 特に新興住宅の浸水は、県と直接交渉で対策をお願いしたいが。

**建設部長** 引き続き県に要望していく。

**芦塚** 水害対策と通行の

安全のために、鹿島市から武雄北方インターチェンジまでの高規格道路の整備が必要であるが。

**建設課長** 県知事への要望を提出する予定。

**ジェンダーレス制服は**

**芦塚** 中学校の制服はジェンダーレス制服か。

**教育長** ジェンダーレス制服は、4校のうち2校が採用している。

**芦塚** 制服購入費の助成はあるか。

**教育長** 制服の購入助成はしていない。

**芦塚** リユース制度は。

**教育長** 従来からPTAで制服を集めて譲るといいうリユースをしている。



▲ 今ある施設を磨いて魅力アップを



森田 明彦 議員

轟の滝公園までの塩田川  
遊歩道の整備状況は

答 年に数回の除草および側溝の清掃などを実施している



**森田** 今ある施設（遊歩道）のブラッシュアップについて昨年の一般質問後、市民からも複数の意見が寄せられた。管理は佐賀県だが、市民や観光客も利用される施設であ

ることから再度伺う。  
**市長** 市の作業員により歩行空間の確保に努め、構造物の補修等は県に要望を行っている。  
**森田** 健康志向が高まる中、轟公園までつながる

この遊歩道について市民へも様々な手段で周知を図っていただきたい。  
**観光商工課長** イベントでも活用しながら市民の参加も呼び掛けていく。

茶業振興について

**森田** チャオシルの利用拡大策として、轟の滝公園と近距離にある利点を生かしたPR等は行っているか。

**茶業振興課長** 轟の滝公園および遊歩道も含めて観光パンフレット等でご案内をしている。  
**産業振興部長** SNS等でも轟の滝の四季折々の景観等も交えて情報発信を重ねていきたい。

**森田** 茶ミットの開催ができて、茶どころうれし

一方、隣接の東彼杵町では各種団体が結束し、茶市を毎年開催されている。本市でも茶の繁忙期を避けるなど工夫して開催できなかつたか。  
**茶業振興課長** 時期や開催方法について関係機関の役割および分担等も含めて協議していく。

新幹線関連について

**森田** 長崎方面への始発便ダイヤ改正でJR九州の動きはあるか。

**新幹線・まちづくり課長** 始発は午前7時49分発であり、長崎方面への通勤通学や旅行者の移動を考慮した場合、現ダイヤでの武雄温泉駅の始発便を嬉野温泉駅に停車させることが重要である。

JR九州へはダイヤ改



▲ 駅前の賑わい創出に人の集う場所も必要だ

正も含め利便性向上の要望を引き続き行っていく。  
**森田** 駅前の緑が多い空間は素晴らしいが、賑わい創出に必要な空間として人が集う場所の作り込みは必要ではないか。  
**新幹線・まちづくり課長** 様々な方より意見、要望をいただいております。後、利便性向上に努める。

特殊詐欺等の  
犯罪対策について

**森田** 警察署とコンビニエンスストアが連携して特殊詐欺などの犯罪対策に取り組み、その効果も実証されている。本市でも検討できないか。  
**総務・防災課長** 現在、民間企業との連携体制はとっていない。市では、消費生活相談やコーナーを設け、特殊詐欺を含めた消費者問題に対する啓発活動を行っている。

# 市有地を宅地として 活用する考えは

川内 聖二 議員



一般質問

**答** 売却や貸し付けの  
検討を進めたい



▲ 公有財産の有効活用を（下宿ふれあい住宅付近）

**川内** 本市は、移住・定住による人口増加を目指しているが、ここ数年の市外から本市へ移住された方の状況を伺う。

**市長** 嬉野市移住促進応援金の過去3年間の実績として、令和2年度が35世帯94人、令和3年度が57世帯で136人、令和4年度は81世帯217人と年々増加している。

**川内** 宅地開発で、私有地の譲渡に関し補助金を支援する民間宅地開発支援事業を展開されているが、市が所有する土地を

民間に譲渡し宅地として活用する考えはないか。

**財政課長** 公有財産のうち普通財産は、売却や貸し付けが可能である。市が整地した上で宅地として売却する具体的な予定はないが、売却や貸し付けの検討を進めたい。

**川内** 普通財産の土地の売却については、どのような形で行うのか。

**財政課長** 手続きに関しては、行政運営で見込めないものか慎重に検討し、見込めないものに関しては、公募をして入札にか

ける。

**川内** 駅周辺土地区画整理事業で東口の方は、区画分けの工事が進められているが、民地が保留地か伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 東口側は、私有地と保留地合わせて2ヘクタール程で宅地として利用ができる。個人名義で12筆、保留地は8区画で14筆を利用できるように進めている。

**川内** 以前、東口側は商業・業務地と区分けをされていたが。

**新幹線・まちづくり課長** 今現在、準住居地域に指定をされており、住居は勿論、店舗に公共施設、宿泊施設等も建てることのできる。

**川内** 下宿ふれあい住宅に隣接する40オール程の土地は以前、行政財産として購入されたと思うが、購入理由を伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 市営住宅の建て替え候補地として購入、計画は継続している。

**川内** 市営住宅の増設予定地と伺っているが、確

認する。

**建設部長** 嬉野市住生活基本計画があり、住宅関係の計画が盛り込まれている。計画は2028年度までの計画があり、新たな住宅を造る場所として位置付けしているが、今現在、検討をしている。

**川内** 計画が変更した場合、行政財産の土地はどのような扱いになるか。

**建設部長** 今後の状況を勘案しながら行政財産として残すか、普通財産という形にするか検討したい。



▲ 河川内の雑木の撤去を早急に

**塩田川河川の改修は**

**川内** 塩田川の遊歩道の延線を県の方へ要望されているか。

**市長** ここ数年、立て続けに豪雨災害が発生し、河川の災害復旧を県の方に優先して要望するので遊歩道の整備は要望しづらい。要望するとしたら、河川流域の住民を含めたコンセンサスを取る必要があると考える。

**川内** 塩田川内の危険な立木の撤去を県へ要望しては。

**市長** 県と綿密な連携の下で対策をして参りたい。





水山 洋輔 議員

## チャオシルの現状と方向性は

答 指定管理も視野に入れ  
取り組んで行く



**水山** チャオシルの現状と今後の運営の方向性について伺う。

**市長** 昨年度の入館者数は、2万6283人と過去最高の売上となった。1156万円と過去最高の売上となった。集客安定を図り、指定管理による運営も視野に

取れ取り組む考えである。**水山** 昨年10月以降の喫茶コーナーの売上について伺う。

**茶業振興課長** サービスの変更による価格改定を実施。昨年の10月〜3月の月毎の売上額は、平均で前年度より229%の売上額となった。**水山** 入館者数と喫茶コーナーの利用者数をどのように分析されているのか伺う。

**茶業振興課長** 喫茶コーナーの売上額のアップはできたが販売量は価格をあげたことにより若干減



▲ 入館促進に取り組むチャオシル 祝10万人!!

少している。10月からは、お茶単品の販売を行い、お菓子を選んでもらえるように体制をとる。

**水山** 喫茶コーナーについて、リピーターや新たな顧客開拓の取り組みとして季節毎のメニュー開発をどうするか。

**茶業振興課長** 王位戦で食されたお菓子をSNSで発信して集客を図る取り組みや吉田焼の商品など変化を出すようにしている。子供連れの方が長く滞在していただくために、絵本の購入などの工夫を行っている。

**新幹線・まちづくり課長** 嬉野温泉案内所という市の公式LINEやまるくアイズにて体験できる。デジタルモール嬉野は、仮想空間でのアバター操作。バーチャル嬉野は、VRゴーグルを着用した立体的な体験。嬉野散歩は、ストリートビューと市内の飲食店等の中も見ることができ機能を持たせている。

**水山** デジタルモール嬉野の今後の取り組みについて伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 現在は、箱ができた状態。今年の夏祭りの花火中継なども一つのチャレンジとして行った。

**建設部長** ECサイトやふるさと納税など将来的には様々な連携を取りながら嬉野のPRをするこ

**水山** デジタルモール嬉野やバーチャル嬉野・嬉野散歩について伺う。

**水山** デジタルモール嬉野の今後の取り組みについて伺う。

**新幹線・まちづくり課長** 嬉野温泉案内所という市の公式LINEやまるくアイズにて体験できる。デジタルモール嬉野は、仮想空間でのアバター操作。バーチャル嬉野は、VRゴーグルを着用した立体的な体験。嬉野散歩は、ストリートビューと市内の飲食店等の中も見ることができ機能を持たせている。

**水山** デジタルモール嬉野の今後の展開は、指定管理も視野に入れ取り組んで行く。



▲ まるくアイズで体験できるVR技術

とを目的にしている。**水山** バーチャル嬉野・嬉野散歩の今後の展開は、指定管理も視野に入れ取り組んで行く。

**水山** みなと広場の未舗装部に水溜まりがよくできる。舗装や補修をできないのか伺う。

**建設部長** 県から維持管理を市が受けている。どういった形がいいのか教育委員会と協議する。

**教育長** 伝建審議会の意向や河川敷のため県の意向も聞いて検討する。



## 窮地の茶生産業、消費販売対策強化は

**答** 茶生産販売対策強化事業を予算化する

山口 虎太郎 議員



▲ 産地を守れ！対策を

**山口** 茶農家への負担軽減と生産量の増加、確保に向けた取り組みの内容は。

**市長** 高齢化や後継者不足により共同工場の構成員が減少し、稼働率が低下している。県の事業に2力以上の茶工場間において、荒茶加工の集約を図り、生産コストの最小化を推進する事業がある。

補助率は10アール当たり3万円ということであり県、JA、嬉野市としては、今年度に団体のモデル地区をつくる予定で次年度の取り組み拡大に努めていく。

**山口** これからの茶業振興策の方法を示されたが、農家がいかなる形で集約をしても、荒茶平均単価の低迷の解決策にはならないと思うが。

**茶業振興課長** 今回、全国茶品評会で2部門のダブル受賞とよい成績を収めていただいた。荒茶の平均価格を上げるために、市としてはPR事業を行い、茶業部会と連日、協議をしているところである。

**山口** 第2回定例会において約3億円を予算化して商店街に賑わいを創出された市長の手腕で、ぜひ茶業生産者の所得向上

につながるような政策で茶業界の立て直しを図っていただきたい。

「コロナ禍で国の緊急茶消費拡大対策事業として5000万円の消費拡大事業により、佐賀県茶商工業組合が主体となり、「うれしの茶」を県内の小学校、中学校等に無料配布されたが、その後消費拡大にどう取り組まれたか。

**茶業振興課長** 九州茶産地協議会でも各首長宛に要望書を提出するよう調整、連携を求めている。国、県とも連携しながら、農家支援に努める。

**山口** 市内のお茶生産者、卸売り事業者、小売事業者が一体になって取り組みをできるよう、市長が音頭を取って小売りの開拓には予算をつけて、必ず取り組みむべきと思うがどうされるのか伺う。

**茶業振興課長** 意向を踏まえて今後、茶業振興課でも予算計上を踏まえ、次回の活性化委員会でも再度協議を詰めていく。

**山口** もっとスピード感を持って市長がリーダー

シップを取り、県内外に懸命に働きかけトップセールスをやるべきである。

嬉野の生産者を助ける政策をどのように考えているのか。

**市長** 農林水産大臣賞、産地賞を含めて2部門で4冠達成というのは、正直すごくいい結果である。来年度の当初予算で予算化を予定していたが、次の第4回定例会にて議会に予算案を計上することを検討している。

### 6月議会文書質問

**山口** 医療センター跡地活用について伺う。

#### 新幹線・まちづくり課

解体については計画に沿って進行している。跡地利用は「先導的官民連携支援事業都市公園と公有地の一体的・段階的利活用による公有地利活用調査報告書」において3エリアの活用方法が示されている。



▲ 跡地活用が大きな課題（旧医療センター跡地）



# 認知症サポーターの 有効的活用は

諸上 栄大 議員



## 答 参加支援ができる輪を 広げていきたい

**諸上** 認知症施策の現状と、今後の展開は。  
**市長** コロナ禍で開催を見合わせていた認知症カフェや、サポーター養成講座は徐々に再開している。  
今後地域のサポーターが支援に関わる仕組みづくりを予定している。

**諸上** お茶と認知症予防の研究がされている中、有名茶どころ独自の認知症施策の展開は考えられないか。  
**市長** 研究が進み、ある程度確からしい論文も散見される。今回認知症への理解を深めるきっかけづくりとして、チャオシルで認知症カフェが企画された。  
今後もお茶と認知症の関係に着目した情報発信のあり方を探っていきたい。

**諸上** 認知症サポーターを受講した方をマンパワースとして活用するかが今後の鍵になると考えるが。  
**福祉課長** 令和7年度からのチームオレンジ設置事業に向け、来年度にコーディネーターの配置を検討する中で、既に登録を受けているサポーターを、ボランティア等で参加を呼びかけ支援ができる輪を広げていきたいと考えている。

**諸上** 「住まい」は生活の基盤である。福祉の現場において住まいの相談が増えている中、県内では居住支援を主に福祉部局と住宅部局が連動し、ニーズや困り事などに対し連絡調整をする協議会を立ち上げている市町もあると聞く。当市での取り組みは考えられないか。  
**市長** 住宅施策は、近年特に福祉の色合いがかなり強くなってきている印象を受ける。住み慣れた地域で過ごしていくモデルの構築に向けて、今後組織の立ち上げを含め検討しなければならぬと思う。

**総合福祉センターの設置の考えは**  
**諸上** 老人福祉センターは、利用者の年齢に限らず、障がいをお持ちの方々、子どもやその家族また、難病の方々など、あらゆる方が利用できる総合福祉センターの設置が今後、地域共生社会の構築に向けても必要と考えるがどうか。  
**市長** 高齢者福祉に限らず様々な年代、境遇の方を多層的に支援していく業務のあり方を変えていく中で、それに対応しなければならぬと思う。  
今回、老人福祉センターに子育て支援センターが一時的に入る形になり、実質的な運用について柔軟に行っていきたい。  
設置条例も含め今後タギミニング的に議論しなければいけないことであれば、内部で議論していきたい。



▲ 多様な認知症カフェの取り組みを



▲ 柔軟な対応に期待

### 6月の文書質問事項

- 福祉教育について
- 重層的支援体制整備の内容等について
- SAGA2024国スポ・全障スポに関して
- スポーツ大会や合宿の受け入れについて



古川 英子 議員

## 少子化と施設の 長寿命化合併について

**答** 統廃合を考える時期も  
来るのではないか



**古川** 人口減少における学校の長寿命化対策と合併について伺う。

**教育長** 学校施設は30年以上の建物半分を占め近い将来建て替えを含めた対策が必要となっていく

る。何年後になるか統廃合の形を考えた得ない時期に来るのではないかと考える。

**市長** 国全体として少人数教育にかじを切りつつある中で「学校の統廃合

はしません」と言っている。

今後、統廃合について意見があれば議論を戦わせて行きたいと思っている。

### 嬉野市の奨学金について

**古川** 奨学金の返済に関して他市町では、地元へ帰ることで減額するなどの取り組みが行われているが嬉野市ではどうか。

**教育長** 検討はしたが、踏み込めていない状況である。

**総合戦略推進部長** 他市町では企業が取り組んでいるが、当市では企業はできない状況である。

**行政経営部長** 基金を使っているが段々減っていくことになるため慎重に検討しなければならない。

**古川** 調整し、いろいろな方法を検討できないか。

**市長** 制度の中では非常に困難だと思うが検討の余地があるのではと考えている。

### 涼みどころについて

**古川** 開始時期が遅くもっと早く取り組むことができなかったのか。

**市民福祉部長** コーディネーターが地区を回り呼びかけていたが遅れてしまった。

### 6月の文書質問 人口減少における学校の 長寿命化計画について

**古川** 対象全ての学校に長寿命化計画を考えているか。

**教育総務課** 可能な限り



▲ 確実に安全な避難行動を

### 避難行動要支援者の 個別計画書について

**古川** 介護認定を受けている高齢者のみに計画するものか。

**福祉課** 要件に該当すれば年齢に関係なく作成できる。

**古川** 計画書の作成について各行政区長や民生委員等でも作成できないか。

**福祉課** 個別避難計画書の作成は可能である。

### 奨学金について

**古川** 嬉野市の人口減少の対策として市に帰ること

で奨学金返済免除に取り組むことはできないか。

**教育総務課** 限られた予算を対象者へどのような方法で支援していくのか研究を進めていく必要がある。



▲ 長寿命化対策で改修される大草野小学校

# 住宅支援協議会を 立ち上げるべきでは

**答** 早急に取り組む  
必要がある

**梶原** 低所得層の高齢者、障がい者、子育て世帯の皆様は将来にわたって住宅確保に大きな不安をお持ちだ。官民協力のもと住宅セーフティネットの活用についてはどう取り組まれるのか。

**市長** 令和5年8月現在で住宅セーフティネット住宅として市内で49棟299戸の登録で空き住宅は6棟6戸となっている。今後部署横断的に取り組む。

**梶原** 住宅支援制度について市、宅建業者、賃貸住宅管理者、居住支援の



梶原 睦也 議員



▲ 急がれる住宅確保策

NPO等と協議体を組んで早急に住宅支援協議会を立ち上げるべきではないか。

**市長** 担当課が先進地であるみやき町に視察に行きいろいろと検討しているところだ。協議会の立ち上げは早急に取り組む必要がある。

**梶原** 温泉管の破綻等については高温ということもあり非常に危惧するところだが、市として把握できているか。

## 温泉管の老朽化について

**観光商工課長** 民間事業者が配湯を行うためのものであり温泉管の老朽化等の調査は行っていない。

**梶原** 実際、市道の中など公共の部分を通っているし、民間だからといって市は関与しないということではないのか。

**観光商工課長** 漏れているとの情報が入った場合は事業者に対し速やかな対応をお願いしている。

**梶原** これまではそういった対応をなされてきたが、今後については市も課題解決の一端を担うべきではないのか。温泉は市にとって大事な自然資源でもあり、市が全く関与しないのはおかしいと思うが。

**市長** 近年は温泉管の老朽化により市民に迷惑をかけている。市としても憂慮すべき事態と捉えている。今回全ての源泉のモニタリングが可能となったので、事業展開の新たな基軸として温泉管の老朽化、所有者不明の温泉管も含めての調査が必要と考えている。

## 住宅地へのインシシ 出沒対策について

**梶原** 住宅地や学校への出沒情報はどうか。また、対応はどのようにされているか。

**総務・防災課長** 通報があれば広報する。登下校中、子供に影響がありそうであれば防災無線で注意喚起する。また、危険を感じるような場合は職員が駆けつけ、場合によっては警察や猟友会に通報し出動していただくこともある。

**教育長** 教育委員会や総務・防災課と連携し対応

している。今のところ被害は出ていないが予防は随時していきたい。

## 休日・夜間の 緊急連絡体制について

**梶原** 唐津市ではLINEを使い道路・河川・公園等での損傷を市民から伝えていただく緊急連絡体制ができていますが、本市でも採用すべきではないか。

**市長** そういったシステムは非常に有用性を感じているので導入に向けて研究を進めたい。



▲ 市民の宝 嬉野温泉



阿部 愛子 議員

## 公園内のユニバーサル トイレの進捗は

**答** ニーズが高まれば整備する



**阿部** 市が管理する公園に設置されているトイレの数、洋式、和式それぞれいくつあるか。

**市長** 設置されているトイレの数は、洋式が46基と和式が44基、その内車椅子でも可能なトイレが10基ある。

**阿部** 公園のトイレにも

ベビーチェア、おむつ替えベッド、オストメイト対応など必要と思うが。

**新幹線・まちづくり課長** 今後ニーズが高まれば整備する必要も出てくる。今後の整備や洋式トイレの計画はあるが、現段階では既存の基数を確保して管理する。

**阿部** 鷹ノ巣公園の和式トイレは給水タンクの管に、赤いテープが巻かれて「手すりではない」と書かれている。壁にL字の手すりを付けられないか。

**新幹線・まちづくり課長** 今後検討したい。

**交通安全について**

**阿部** 工事予定はあるか。

**建設課長** 数年前から工事をしている。改良工事を進めている所もある。全面的な改良は、再度現地確認を行う。

**塩田庁舎の  
活用について**

**阿部** 「町の特性を活かした塩田庁舎の活用として、時代に即応したネットワーク機能を活用し、行政サービスの低下を招くことのないように配慮しエリア一体を子育て・文教ゾーンと位置づけ、まちづくりを進める」とある。窓口機能は具体的にどのように予定しているか。

**阿部** 塩田庁舎一帯を子育て・文教ゾーンと位置づけているが考えを伺う。

**企画政策課長** 市民が必要とする機能を盛り込んでいくことが一番重要になる。

現在、協議を積み重ねてより良い基本構想策定に努める。

**阿部** 塩田庁舎等に関するアンケート調査の状況や結果は。

**企画政策課長** おおむね

完了している。3289件への配布で937件の回答があり、回答率は28.5%である。結果は市のホームページで公表する。

**阿部** 市民説明会でも水を心配する声が多く出されたが対策は。

**企画政策課長** 水害対策については中・長期的にはハード、ソフト両面から対策を講じることは重要事項と認識している。引き続き国と県と連動連携して災害対策を進める。



▲ 急がれる洋式トイレへの整備

**阿部** 兎鹿野入り口から200メートル位上がった坂がクランクになっている。以前から事故が多い所で地元からの要望も出ている。ガードレールも途中までで、その先は何も無く危険な坂道である。改良工事の予定はあるか。

**建設課長** 今年度は、道路改良工事のため測量と用地買収を予定している。

**阿部** 兎鹿野地区までの

**阿部** 「町の特性を活かした塩田庁舎の活用として、時代に即応したネットワーク機能を活用し、行政サービスの低下を招くことのないように配慮しエリア一体を子育て・文教ゾーンと位置づけ、まちづくりを進める」とある。窓口機能は具体的にどのように予定しているか。

**企画政策課長** 新庁舎との連動が必要であり、基本設計、実施設計と併せ



▲ 安全な生活道路を

# 新庁舎における 窓口サービスの充実を

**答** 市民サービスを最重要視し  
窓口改革を進めていく



山口 卓也 議員



**山口** モニター越しに職員と話しながら手続き、相談ができる仕組みの「リモート窓口」の導入を検討できないか。

**広報・広聴課長** 新庁舎ができた場合の塩田庁舎と新庁舎をつなぐ「リモート窓口」について、既に数業者から提案を受けており、実際の機器を用いたデモンストレーションを行っている。市民の利便性向上と業務効率化に向け研究していきたい。

**山口** 新庁舎の整備だけでなく、市民サービスといったソフト面の充実も



▲ 新庁舎建設では市民サービスの向上も重要

**必要と考えるが。**

**市長** 一体化をしていくなかで利便性を低下させないよう、ICTの力をもって業務の効率化を図りつつ質の高いサービスを維持、もしくは付加していく方向で考えている。

**うれしのまるく(駅前広場、道の駅)について**

**山口** 当初の説明ではアウトドア関連の提案などがあったと思うが、その方向性で進められるのか。

**新幹線・まちづくり課長** 事業者から正式な発表

等がなく詳細には把握できていない。

**山口** 提案に基づき協定を結んでいるので、市として進捗や今後についてはしっかりと詳細を把握すべきである。

**運営事業者の「まちづくり嬉野」の組織体制はどのようになっているのか。**

**新幹線・まちづくり課長** 一民間事業者の組織体制についてはお答えできない。

**山口** 当初の提案時には、株式会社ビープラスを代表とする5社の事業体と議会に報告されている状況をしっかりと把握して議会にも報告すべきである。

**建設部長** 当初の段階では確認しており変更があれば知らせていただくといいことになっている。現在では変更はないと思っている。

**子宮頸がんワクチン**

**山口** 男性の子宮頸がんワクチン接種についての



▲ 整備の方向性や整備事業者の組織体制の把握を

見解と公費助成ができないか伺う。

**統括保健師** 厚生労働省はワクチンの効果は認めており、有効性や費用対効果、安全性を調査したうえで最終的な結論を出されると思うので、それを持って検討したい。

**6月の文書質問  
基金等の財務運営及び給食費について**

**山口** 大分県国東市などが実施している基金一括運用を導入できないか。

**会計課** 適正な時期を見極めながら、また、関係課とも協議しながら先進地の事例を参考に調査・研究を進めていきたい。

**山口** 給食費の公会計化を進める考えはないか。

**教育総務課** 文部科学省は学校給食費の公会計化を推進している。現時点での予定はないが、公会計化すれば会計の透明性の向上が図られ、給食の安定的な提供ができるようになるので、今後導入を見据えた検討をする必要があると考える。



大串 友則 議員

## 観光戦略策定後の 取り組みは

できるだけ早く  
取り組み



**大串** 令和5年3月に嬉野市観光戦略が策定されたが、市民や市内事業者の実益に具体的にどのようにつながるのか伺う。

**市長** KGI(重要目標達成指数)として観光消費額を年間175億円に伸ばし、KPI(数値目標)は市民の嬉野への愛着度を上げていくこと、1人当たりの消費単価を上げていくこと、観光客

数もそれに伴って上げていくことを目標として図っていく。

**大串** 平成28年度に観光協会が中心となって観光戦略を発行・編集をされたが、今回は嬉野市が中心となっている。その理由は。

**観光戦略統括監** 様々な環境の変化を捉まえて、今後進んでいく方向を当市が関係者にヒアリング

をして、アンケートを取り作成するのが適当だと考えた。

**大串** 前回の観光戦略の検証はしたのか。

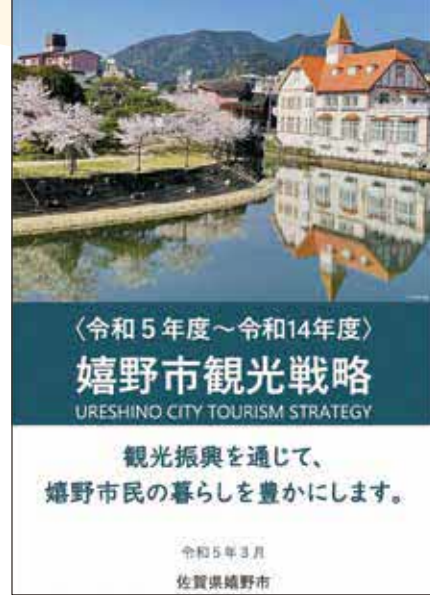
**観光戦略統括監** 数値目標は達成できていない。そついう点では、今の状況を見据えて新しい計画を作成した。

**大串** 今回策定後のアクションプランの作成は。

**観光戦略統括監** 現時点ではまだまとめてない。今後、関係機関と協議をしながら作成する必要がある。

**大串** 観光客は、新幹線開業の効果もあって増えつつある。スピード感を持ってやるべきでは。

**観光戦略統括監** できるだけ早い時期にアクションプランを計画し、実行していく。



▲ 観光振興は待ったなし

**大串** 観光戦略策定会議の中でも課題として上げられていた、人材不足や後継者不足が観光業に限らず様々な産業で見受けられる。

**大串** 観光戦略策定会議の中で、アンケートを取り作成するのが適当だと考えた。

**大串** 前回の観光戦略の検証はしたのか。

**観光戦略統括監** 数値目標は達成できていない。そついう点では、今の状況を見据えて新しい計画を作成した。

**大串** 今回策定後のアクションプランの作成は。

**観光戦略統括監** 現時点ではまだまとめてない。今後、関係機関と協議をしながら作成する必要がある。

**大串** 観光客は、新幹線開業の効果もあって増えつつある。スピード感を持ってやるべきでは。

**観光戦略統括監** できるだけ早い時期にアクションプランを計画し、実行していく。

**大串** 観光戦略策定会議の中でも課題として上げられていた、人材不足や後継者不足が観光業に限らず様々な産業で見受けられる。

**大串** 観光戦略策定会議の中で、アンケートを取り作成するのが適当だと考えた。

**大串** 前回の観光戦略の検証はしたのか。

**観光戦略統括監** 数値目標は達成できていない。そついう点では、今の状況を見据えて新しい計画を作成した。

**大串** 今回策定後のアクションプランの作成は。

**観光戦略統括監** 現時点ではまだまとめてない。今後、関係機関と協議をしながら作成する必要がある。

**大串** 観光客は、新幹線開業の効果もあって増えつつある。スピード感を持ってやるべきでは。

**観光戦略統括監** できるだけ早い時期にアクションプランを計画し、実行していく。

**観光戦略統括監** 現時点ではまだまとめてない。今後、関係機関と協議をしながら作成する必要がある。



▲ 魅力ある駅前整備に

いる。今後もイベント等に積極的に活用していきたい。

**大串** 観光客やたくさんの方が利用されているが景観や環境のことで意見をよく聞く。市として景観や環境をどのように管理していくのか。

**観光商工課長** 観光協会でもボランティア等も募り遊歩道の清掃等もしている。市民等への呼びかけも今後協議していく。

**大串** 観光客やたくさんの方が利用されているが景観や環境のことで意見をよく聞く。市として景観や環境をどのように管理していくのか。

**観光商工課長** 観光協会でもボランティア等も募り遊歩道の清掃等もしている。市民等への呼びかけも今後協議していく。

### 6月の文書質問

**大串** 嬉野温泉駅周辺の民間エリアの整備事業の先行きが不透明で、心配する声もあるが進捗状況を伺う。

**新幹線・まちづくり課** 現在、飲食店の建設も着工しており、段階的に整備が進められている。地元産品を使った商業施設の建設の調整を図っていると聞いている。



# 新幹線駅開業2年目の まちづくりの考えは

**答** しっかり汗をかいていく



増田 朝子 議員



**増田** 手ぶら観光の実績と課題を伺う。

**市長** 8月末現在で7件、手荷物の収集時間が11時までで早いので、午後の集荷も含めて事業者とも相談したい。

**増田** 駅のコインロッカーを増やせないか。

**新幹線・まちづくり課長** JRとの協議になる。

一時預かりのニーズも多いため現状を把握し、協議をしていきたい。

**増田** 観光客のリピーターに来ていただくための仕掛けとしての観光コンテンツの充実とは何か。

**観光戦略統括監** 自然、歴史、文化などの地域の観光資源を活かして、体験・実感してもらうための商品化される素材メ

**増田** 新幹線駅開業2年目、これから勝負だと思いが、考えを伺う。

**市長** 高付加価値、周辺の観光資源とつなぎ合わせ、すべてにおいてしっかりと汗をかいていく。

**地域コミュニティ事務局の待遇について**

**増田** (文書質問) 事務



▲ 駅周辺の賑わいに期待！

局長の社会保障制度の導入は、どのように検討したか。

**企画政策課** (回答) 制度上、直接的な処遇改善ができず、交付金算定等の面で処遇改善ができないか協議をしている。年金事務所との協議、各事務局長への説明等を実施している。

**増田** 年金事務所との協議とはどのようなことか。

**企画政策課長** 社会保険に加入ができるか、手続きやスケジュールを年金事務所より教授いただいている。

**増田** 来年度に向けてどのように進めていくのか。

**市長** しっかりと当事者の方と打ち合わせながら一歩一歩前に進めている。

**塩田庁舎等**

**利活用について**

**増田** (文書質問) ①アンケートの結果をどのようにとりまとめ、活用していくのか。②今後のスケジュールを伺う。

**企画政策課** (回答) ①貴重な基礎資料とし、基本

構想の策定に生かしていきたい。②来年3月頃までに基本構想(案)の検討を行う予定。

**増田** アンケートの最終回収率はいくらか。

**企画政策課長** 28・5%である。

**増田** アンケートの公表はするのかが。

**企画政策課長** ホームページで9月中旬に公表する。

**増田** アンケートの公表は、各コミュニティの事務所にも提示してほしいがどうか。

**企画政策課長** 検討して

いきたい。

**増田** 3回のワークショップが行われているが、その結果の公表をしていただきたいが。

**企画政策課長** どのような形でできるか、検討させていきたい。

**増田** 今後、塩田庁舎等活用をどのように考えているか。

**市長** ICTを活用しながら市民の行政サービスを向上させる方向で考えている。子どもや高齢者の世代間交流も促す新たな賑わい創出のエリアとしていきたい。



▲ 塩田庁舎等活用の充実を！

# うれしの茶の 販売促進へ向けどうする

田中 政司 議員



一般質問

**答** 産地一体となって  
取り組む



▲ 販売に活かせ日本一のうれしの茶

**田中** 「うれしの茶」の販売、消費の増へ向けた具体的な対策は今後どうするのか。  
**市長** 県が「うれしの茶」FAN拡大プロジェクトに取り組まれている。うれしの茶を応援し購入できる店舗のマップング調査を行い、そのお店の周知を行う旨の事業である。市としても「うれしの茶」を取り扱う店舗を増やしていかねければと考え、関連予算を次年度と考えていたが、前倒ししてでも早急に連携し取り組む必要があると認識している。

**田中** 「うれしの茶ミット」に代わる販売促進のためのイベント開催についてはどう考えているのか。  
**市長** うれしの茶活性化委員会と協議している。「うれしの茶市」としてPRに一番有効な開催時期や開催場所、産地のマンパワー体制も含め、議論を加速させながら協議していきたい。  
**田中** 本年は福岡県で全国お茶まつりが開催される。令和8年に九州に順番が回ってくるが現在の状況はどうなっているのか。

**茶業振興課長** 熊本県が順番になっており、熊本で開催されるのではと思っている。

**市長** 熊本県ができないということであれば、平成11年以来なので、千載一遇のチャンスととらえ、チャレンジできればチャレンジしたいと考えている。

**田中** 肥料、農薬などの資材費が高騰する中、国や県、市の支援策はどうなっているのか。  
**市長** 秋の臨時国会において、円安や原油高の影響を受け資材や肥料の高騰が続く中、その対策がとられることを期待したい。また、市も県と連携しながら要望をしていく。

## シニアカーの 購入費補助について

**田中** 他の自治体においては、シニアカーの導入しているところがある。嬉野市での考え方はどうか。  
**福祉課長** 高齢者の運転免許証自主返納事業で運転経歴証明書により、そ



▲ シニアカーで孫の応援

の交付手続きの額とタクシー券を交付している。また、福祉有償連送や吉田地区の「ヨッシー号」塩田地区の「こましお健康くらぶ」など、移動や暮らしを支援する事業を行っている。現時点においては個人へのシニアカー購入補助は考えていない。  
**田中** タクシー券を発行する際、免許証返納後の移動手段について尋ねたことはあるのか。  
**福祉課長** 尋ねたことはない。

**田中** シニアカーは、ある程度の移動には非常に有効な手段であり、高齢者が家に引きこもってしまわないよう、移動手段としてのシニアカー購入に補助を考えるべきと思うが。  
**市長** 事情は理解するが、道路状況や公民館などの置き場の問題も考えられる。今後、高齢者福祉計画を策定する中で、ニーズ調査やアンケートなどを行い、創意工夫しながら把握していきたい。



▲ 都市計画区域に設定されていない塩田地区



宮崎 良平 議員

## 都市計画区域の設定をすべきでは

**答** 長期的なまちづくりの視点では欠かせないもの



**宮崎** 合併時の諸事情があるにせよ、現在塩田町全域において都市計画区域として設けられていない。

長期的なまちの在り方として都市計画区域として設けるべきだと考えるが、市の見解を伺う。

塩田庁舎の周辺等についても明確な利用法、また全域的な都市計画の設定となると、規制をかけることも出てくるようかと思う。

しかしながら長期的なまちづくりと考えた場合、早急に都市計画区域の策定をして、都市計画マスタープランの見直し等も含めて検

**副市長** 塩田の都市計画区域の設定をする中で、塩田の将来のまちのあり方、コンパクトシティーを含め土地利用のあり方など道筋を立てるべきだと思っている。

討すべきだと考える。

**宮崎** 都市計画区域を設けることは、塩田町、また市全体としてのメリツトの大きさは計り知れないものがある。

例えば、これまでの治水対策等においても、都市計画区域として網かけをしていない現況では、箇所ごとでしか対応しづらい。市の河川全体として、総合的な治水対策が進めやすくなるよう、また都市計画区域だけの道路整備に留まらず、都市計画区域へ向かうための道路、及び周辺の幹線道路、国道498号線の拡幅の整備に至るまで好循環をもたらすためにも必要だと捉えるが、市の見解を伺う。

**市長** 長期的な視点でのまちづくりには本当に欠

かせないことである。

近年の豪雨災害、特に塩田地区においては住宅地の浸水等もあつた中で、行政として、長期の展望をしっかりとお示しをし、今後の都市計画マスタープランの策定。

また、今後の行政の様々な治水対策、住宅の政策等もしっかりと説明を尽くしながら、都市計画の効用を説いていきたい。

### 部活動の地域移行は

**宮崎** 「SAGA部活ミ

ライプロジェクト」として県が示す指針に沿って進めていくのか伺う。

**教育長** 国が、今年度からの3年間で改革推進期間として設けており、地域に部活動を下ろしてい

く方向を定めている。

教育委員会でも協議し、あくまでも部活動という銘を打っている以上、教育委員会でグリップを握り、このSAGA部活の11の例から、それぞれの学校で月曜から金曜までの平日は学校で、土日を地域の方にお力をお借りしてというような、地域部活動連携方式という方式で進んでいる。

**宮崎** この地域部活動連携方式において、仮に指導のスキル等も含めた顧問、指導者がどうしても見つからない場合、手配が難しい場合においても、各種協

会、また民間の指導者による指導へというところも推進していくのか伺う。

**教育長** 子どもが希望するところには部活動顧問を置かなければならない。片

や、働き方改革と非常に板挟みの状態である。

今後、地域の方の御指導を仰ぎながら、また、保護者の皆さんにも御理解をいただきながら、部活動の内容によって、どこまでが限界なのか、線引きあたりも踏まえ考えている。

部活動という名称は、教育委員会の一角である。逃げることはなく、そういう課題が出てくれば、積極的に前向きに取り組んでいきたい。

区分	種別	全体的な
B. 学校・地域部活動 2. 連携型		
B-2 地域部活動連携方式		
概要	概要	概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は「学校部活動」として活動し、休日は「地域部活動」として活動する。</li> <li>休日の指導は教職員以外に委ねるが、希望する教職員が専任指導員制度を活用して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員は、平日は学校で活動し、休日は地域で活動する。</li> <li>専任指導員は、平日は学校で活動し、休日は地域で活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は「学校部活動」として活動し、休日は「地域部活動」として活動する。</li> <li>休日の指導は教職員以外に委ねるが、希望する教職員が専任指導員制度を活用して行う。</li> </ul>
メリット	メリット	メリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>休日の活動に参加するかどうかは、生徒自身が自由に選択できる。</li> <li>教職員が休日の部活動の指導に専念する必要がなくなり、働き方改革につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> </ul>
デメリット	デメリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> <li>部活動の活性化による地域活性化につながる。</li> </ul>

▲ SAGA部活のモデルパターン



## 委員会レポート

# 新しい政策を目指し動く 委員会!

## スマートシティについて

総務企画常任委員会

### 調査目的

当市においてスマートシティの一環として様々な取り組みをしている中、さらなる市民サービス向上を目指し、公民連携によるスマートシティの実現に向け取り組みを行っている兵庫県三木市へ調査を行った。

### 委員会の意見

三木市はスマートシティ関連事業を多くの企業や大学、自治体等と様々な事業について連携を結び、その成果後の事業を各担当課につないでいかれていた。

民間企業とのマッチングにおいて重要なポイントは、儲け重視ではなく地域課題の解決とビジネスゴールが共有できる仲間と組むことであり、予算をかけずスタートし、課題・結果を通じ次年度予算化するか決めるという徹底した



▲ 説明を受ける委員会

決めの事のもと連携協定を結び事業展開をされていた。

また、様々な事業において国県の補助金申請の期間は短く、三木市は常に市がやりたい事業を準備し、国や県にプレゼンし事業化してもらう努力に感服した。

当市もスマートシティ関連で様々な事業展開をしているが、三木市の取り組みは大きなヒントをいただき、議会としても調査等を行い、様々な可能性を探り政策提案等を行っていききたいと思う。

## 重層的支援体制整備及びコミュニティ・スクールについて

文教福祉常任委員会

### 調査目的

事業の現状および課題等を研究するため、令和2年度より重層的支援体制整備に先進的に取り組まれている愛知県長久手市を訪問した。

また、本市でも早くから取り組んでいるコミュニティ・スクールについて先進地である北名古屋市を訪問し、本市の取り組みの更なる充実を図るため調査研究を行った。

### 委員会の意見

愛知県長久手市では、「悩みごと相談室」の機能と「福祉課」の地域福祉を統合し、「縦割りの弊害を少なくするため、市長直轄組織地域共生推進課を新設し、重層的支援体制整備事業に積極的に取り組まれている。厚生労働省より派遣されている地域共生推進監のリーダーシップによるところが大きいことも感じた。嬉野



▲ 調査を行う委員会

市においても、誰ひとり取り残さないためには、縦横の連携を図り民間の協力支援をうけたチームとしての支援体制が必要と考える。また、国や県の専門家の派遣を含めた支援が必要と考える。

北名古屋市の学校については、人口密度の高い地域である。地域の子どもは地域で育てる意識の市民協働まちづくりに発展している。  
嬉野市においても地域住民の理解と協力を得ることが必要である。





# 議員とかたろう会を開催



議員とかたろう会



▲ 塩田校舎での風景

## 嬉野高校生との

## 意見交換会を実施

今回の議員とかたろう会は、嬉野高校生を対象に意見交換を行うことで計画しました。

10月23日に塩田校舎の生徒と、また、11月16日には嬉野校舎の生徒との意見交換会を行いました。内容は、嬉野市の観光や高校生の日頃の暮らし、また、将来の夢や仕事について意見を交わ

し、高校生の斬新な意見を聞くことができませんでした。

今回の議会だよりでは10月23日に開催された塩田校舎での議員とかたろう会の様子をお知らせいたします。(なお詳細につきましては、次号において、報告させていただきます。)



## 県内初

# 自動運転車両の実証実験始まる

## 佐賀県で初 公道で自動運転実証実験

10月5日から10月9日までの期間、佐賀県で初めて公道で自動運転車両等の試乗会が行われました。

車両は15人乗りの電動バスで、オペレーターは必要ですが、アクセルやブレーキなどを部分的に自動で操作する自動運転機能(レベル2)を備えており、今回は嬉野温泉駅から温泉街を經由し

嬉野温泉バスセンターまでの約2kmの公道を20分程かけて走行しました。この事業は、令和3年度より内閣府の未来技術社会実装事業



▲ 移動手段の新しいカタチに

を活用しており、嬉野市では観光地の移動の利便性を高めようと、国や県、それに事業者などと連携し導入を目指しています。運用へのスケジュールは令和7年度に本格運用が検討されており、議会においても塩田津等への観光利用や福祉への利用も視野に入れ議論を重ねているところです。



トピックス

# 国へ意見書を

# 提出!!



▲全文はこちらから

発議第4号

## インボイス制度の卸売市場 特例及び茶改植等支援事 業への要望に関する意見書

(抜粋)

発議第5号

## 地方財政の充実・ 強化を求める 意見書

(抜粋)

近年の茶産地を取り巻く茶業情勢は、茶価格の低迷、資材や燃料の高騰による生産コストの上昇、生産者の高齢化や後継者の不足と依然として厳しい状況が続いている。このような中、小規模の茶農家が多い嬉野市の茶生産振興、後継者育成等については課題も多く、茶産地としての存続を危惧する。

このことから、2点について国会及び政府に対し意見書を提出し要望する。

西九州茶農業協同組合連合会のインボイス制度卸売市場特例の対応について

近年の入札回数等の要因で卸売市場特例の適用が対象外となっている。出荷市場の大きさ等で国の制度に違いがあるのは不公平だと言わざるを得ない。卸売市場特例の適用を強く要望する。

嬉野市内の茶生産現場の多くは中山間地帯にあり、非常に厳しい条件になっている。嬉野市のような中山間地域における茶改植等支援事業の補助額のかさ上げを強く要望する。

茶改植等支援事業の中山間地域での補助額のかさ上げについて

- 当市において、多岐にわたる課題が山積している現況において、さらなる地方財政の充実と強化は必要不可欠であるため、国会及び政府に対し、以下の事項の実現を求める。
- 十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
  - 社会保障経費の拡充をはかり、地方財政措置を行うこと。
  - 地域間の財源偏在性の是正にむけて、より抜本的な改善を行うこと。
  - 新型コロナウイルス感染症対策を、今後も十分な財政措置、速やかな情報提供等を行うこと。
  - 「まち・ひと・しごと創生事業費」について、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて、恒久的な財源とすること。
  - 会計年度任用職員制度の処遇改善、雇用確保の財源確保をはかること。
  - 国の基準を超えている自治体の特別交付税の減額措置を行わないこと。
  - 自治体業務システムのデジタル化の十分な財源を保障すること。
  - 森林環境譲与税は、譲与基準の抜本的改革を行うこと。
  - 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。

# 請願・陳情・議員発議とは

## 請願・陳情とは

## 議員発議とは

請願は憲法等に保障され「請願権」の趣旨に従い、国または地方公共団体の機関に対して文書で希望を申し述べるもので、議員の紹介が必要です。

一方、陳情（要望）は、どなたでも提出することができます。

提出にあたっては次の事項に注意してください。

○請願・陳情は要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。

○請願は一人以上の紹介議員が必要です。

○紹介議員が付かないときは陳情としてください。

○道路等は簡単な位置図（略図）を付けてください。

○請願・陳情の締め切りは定例会開会日の4日前前までです。

議会の会議において、議員が「議案」を議長に提出することをいいます。嬉野市では、1つの発議案に関して原則として2人以上の議員が賛同しなければ提出することができません。

発議にはいくつか種類がありますが、主な発議として、「条例」や「意見書」などがあります。「意見書」とは、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や国、県などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出するものです。

意見書の場合は、議員が作成し議長に提出され、本会議でその可否を決めます。

### 閉会中の委員会審査(調査)付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
観光施策について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICT化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

### 第4回定例会 会期日程(案)

12月																	
18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
討論・採決、閉会	休会	休会	休会	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	休会	休会	議案質疑	休会	休会	常任委員会	常任委員会	休会	休会	開会

## ときの人

そうま  
下田 蒼真くん  
(塩田中学校3年)

夢に向かって  
スパイク

今回のときの人、12月25日から大阪府において開催される、令和5年度全国都道府県対抗中学バレーボール大会に佐賀県代表メンバーとして出場される、下田蒼真君(嬉野ホットスプリングスバレーボールクラブ所属)をご紹介します。

**問** 県代表メンバーへの選出おめでとうございます。率直な感想はどうですか。

**下田くん** 嬉しいです。チームに貢献して、多く勝っていくように頑張りたいです。

**問** バレーボールはいつから始めましたか。

**下田くん** 兄の影響で小学2年生から久間ジュニアバレーボールクラブで始めました。

**問** ポジションはどこですか。

**下田くん** オポジットです。

**問** 身長が高いですね、どれくらいありますか。

**下田くん** 177cmです。

**問** バレーボールの練習はどれくらいしていますか。

**下田くん** クラブの練習は月曜日から木曜日の19時から21時です。土曜・日曜日は、選抜の練習が9時から17時まであります。

**問** バレーボールをしていて、一番楽しいことは何ですか。

**下田くん** スパイクを決めて、点を取った時です。

**問** バレーボールを通じて学んだことはありますか。

**下田くん** みんなのために頑張ることです。チームワークがとても大事だということです。

普段の下田くんの横顔にも迫ってみました。

**問** 趣味はありますか。休みの時の過ごし方は何をしていますか。

**下田くん** 本を読むことが好きです。休みの時は、ゲームで息抜きをしています。

**問** 好きな食べ物は何ですか。

**下田くん** オムライスが大好きです。

## 取材を終えて

少し緊張気味だった下田君でしたが、スポーツマンらしく質問にハキハキと答えてくれました。特に、バレーボールの質問には、真剣にそして一生懸命に取り組んでいる姿勢が垣間見られた取材でした。

全国大会では佐賀県代表メンバーとして、大いに活躍し、素晴らしい成績を残してくれることを期待するとともに、今後下田君の更なる飛躍を願っております。



## 議会広報編集特別委員会

委員長	諸上栄大
副委員長	山口虎太郎
委員	田中政司
委員	川内聖二
委員	諸井義人
委員	阿部愛子
委員	大串友則

## C COLUMN

西九州新幹線が開業してから一年が経過し、この新しい鉄道路線が西九州地域にもたらした変化を肌で感じられ、地域経済の活性化、交通の便益、観光業の発展など、あらゆる面で地域社会に貢献している。観光業は特に大きな変革を実現した▼嬉野市は美しい自然景観や歴史的な名所も多く、観光資源に恵まれている。新幹線の開業により遠方からの観光客が増加し、地域の特産品や伝統文化も注目され、観光客に愛されている▼しかし、課題も浮き上がった。地域住民と観光客の双方にとって、より快適な新幹線の利用環境を整える事が求められる▼一周年を迎えるこのタイミングで、新幹線が西九州地域へもたらした変化に感謝し、今後一日も早いフル規格での全線開通を実現させるためにも、魅力ある嬉野市へのまちづくりを期待したい。

(友則)